

meet up

in 洲本

ひょうご関係人口案内所

“関わりしろ”のつくり方

関係人口という言葉が広まり、地域と多様に関わる人たちの存在が注目されるようになってきました。では、そうした人たちとどう出会い、どう関係を築いていくのか？そのヒントが関係人口案内所の取り組みにあります。今回の「MEET UP ひょうご関係人口案内所」では、実践例や、現場での工夫、行政との関わり方を事例とともにご紹介します。「うちの地域でもできそう」と思えるヒントを、お持ち帰りいただけます！

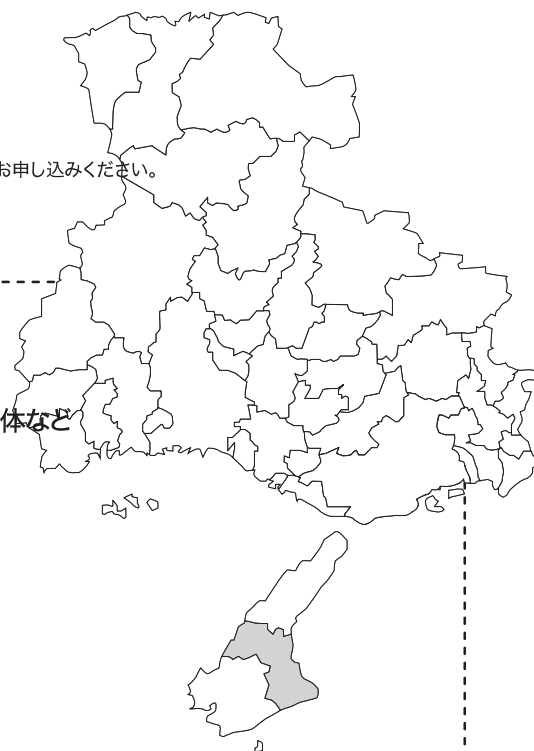


申込はコチラ

定員：30名（先着）
参加費：無料（要申込）
申込〆切：9月5日（金）

誰でも come on

※定員を超えた場合〆切日より早く募集受付を終了しますので、お早めにお申し込みください。
※オンライン配信はありません。



- 会場：洲本商工会議所 1 階「大ホール A」
- 対象：関係人口や地域づくりに関心のある自治体職員・関係団体など
- プログラム

- ・ オープニングトーク
なぜ今「関係人口」なのか？ 背景と期待される役割
- ・ キーノートトーク
全国の「関係人口事例」 『ソトコト』 編集長 指出 一正
- ・ 大学生関係人口からの提案発表
学生からみた洲本市の魅力とその活用
- ・ クロージング・ふりかえり
各自治体で活用できる「関係人口に係る県支援」の説明



『ソトコト』編集長
指出 一正

1969 年群馬県生まれ。上智大学法学部国際関係法学学科卒業。経済産業省「2025 年大阪・関西万博日本館」クリエイター。島根県「しまこアカデミー」福島相双復興推進機構「ふくしま未来創造アカデミー」メイン講師をはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房、総務省、国土交通省、農林水産省、環境省などの国の委員も務める。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』最新刊は『オン・ザ・ロード 二拠点思考』。



『たしらボ』関係人口プロデューサー
嶋村 有加里

ソトコト 2019 年に入社。関係人口の関わりを見える化するツールの開発を行い「ローカル」をキーワードにつながる、ゆるやかでありつつ実践的なコミュニティ運営が強み。



『たしらボ』関係人口案内所 所長
横山 宗助

芦屋市在住。NPO 法人フライバン代表理事。地域の担い手づくり・起業サポートに精通する現場型コーディネーター。課題解決や協働は、グッドデザイン賞を受賞など高い評価を得ている。



主催
兵庫県企画部地域振興課

企画
運営



問い合わせ

hyogo@kankeijinko.jp

『たしらボ』は株式会社ソトコト総研・NPO 法人フライバンが運営しています。